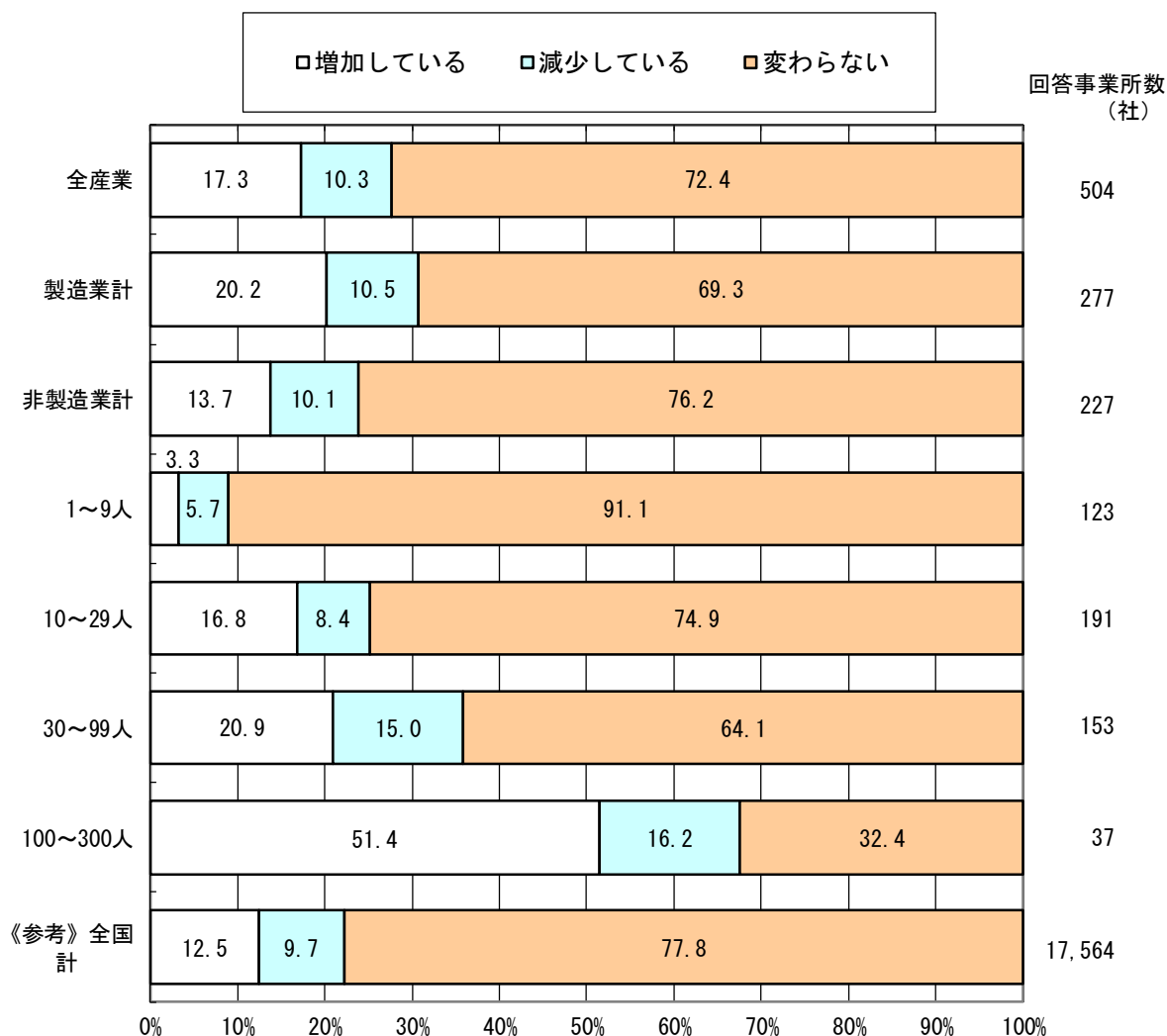


14. 非正規雇用労働者

非正規雇用労働者が昨年と比較して増加しているかどうか聞いたところ、全産業で、「変わらない」が72.4で最も多く、次いで「増加している」17.3%、「減少している」10.3%となっている。業種別でも、「変わらない」と回答した事業所が、製造業で69.3%、非製造業で76.2%と最も多くなっている。

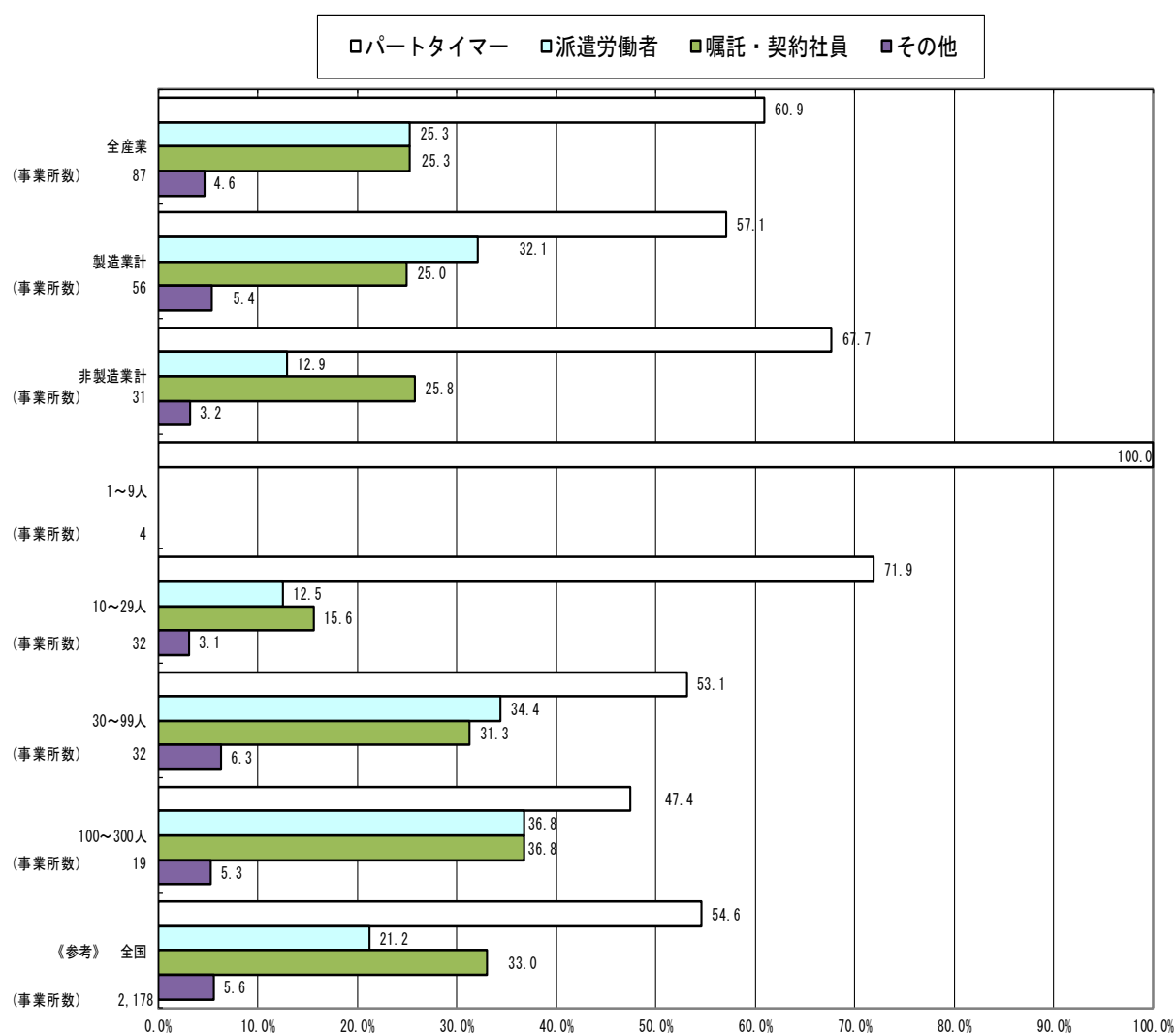
規模別では、「100～300人」で、昨年と比較して非正規雇用労働者が「増加している」と回答した事業所が51.4%と最も多くなっている。

第26図表 非正規雇用労働者の比較



前項で、昨年と比較して非正規雇用労働者が「増加している」と回答した事業所に、増加している非正規雇用労働者の雇用形態について聞いたところ、全産業で、「パートタイマー」が60.9%で最も多く、次いで、「派遣労働者」と「嘱託・契約社員」が25.3%、「その他」4.6%の順となっている。

第27図表 増加している非正規雇用労働者の雇用形態（複数回答）



非正規雇用労働者の雇用要因は、全産業で、「労働コスト削減のため」が40.7%で最も多く、次いで、「定年後の継続雇用制度を導入しているため」32.3%、「臨時的・一時的業務が増加したため」28.1%、「労働者が柔軟な雇用形態を求めるため」20.2%の順となっている。

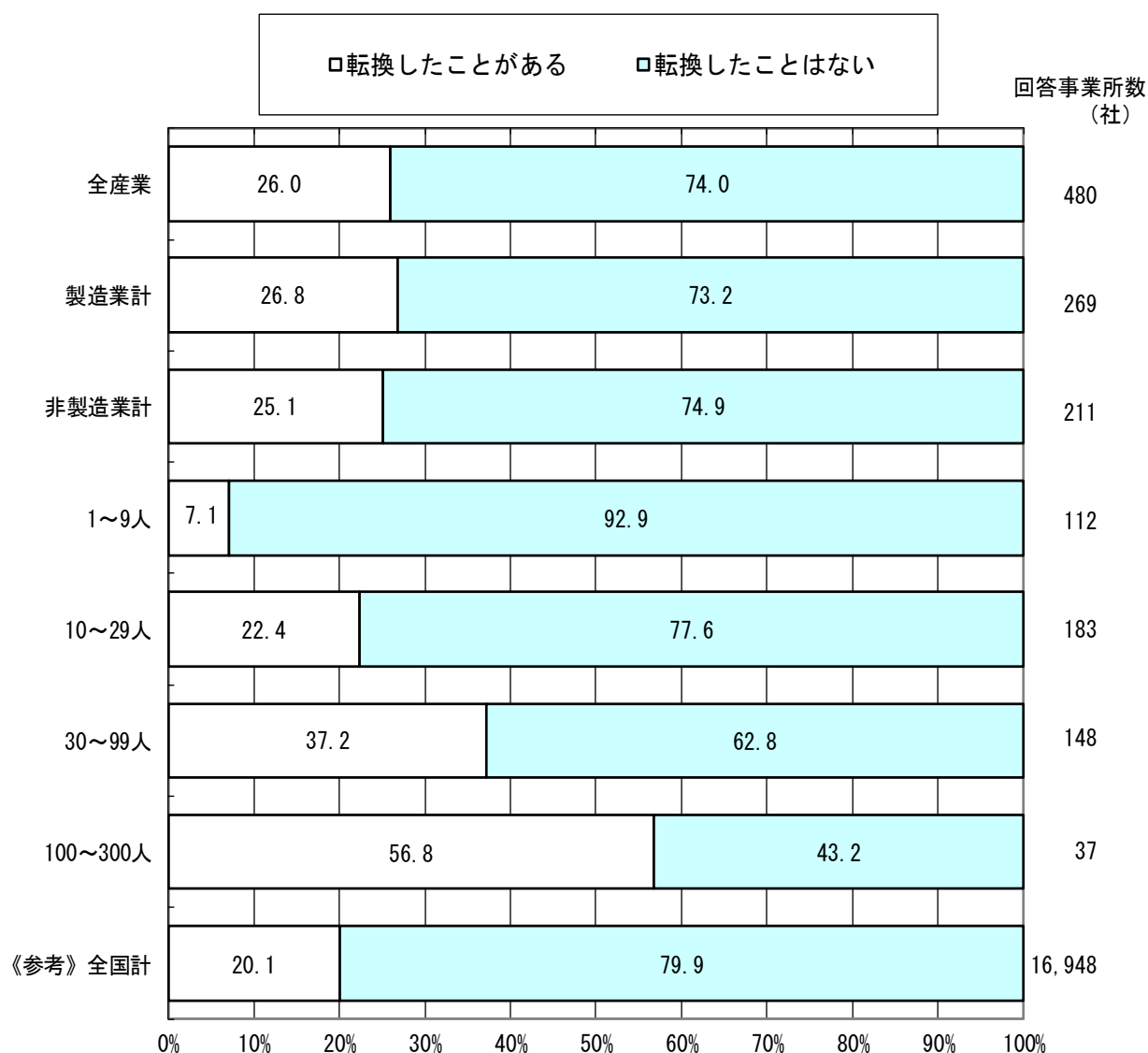
第28図表 非正規雇用労働者の雇用要因（複数回答）

	回答事業所数		時的臨時業務が増加したため	減労働コスト削減	確保に力を入れた人材	正社員に負担を減らすため	正社員を雇ったため	労働者が柔軟な形態を求めたため	業務の自動化が進んだため	正社員採用の減少	定年後の継続雇用制度の導入	その他
全産業	356	回答数	100	145	70	62	35	72	4	7	115	23
		回答数/回答事業所数(%)	28.1	40.7	19.7	17.4	9.8	20.2	1.1	2.0	32.3	6.5
製造業 計	213	回答数	65	87	40	33	22	35	3	4	78	10
		回答数/回答事業所数(%)	30.5	40.8	18.8	15.5	10.3	16.4	1.4	1.9	36.6	4.7
非製造業 計	143	回答数	35	58	30	29	13	37	1	3	37	13
		回答数/回答事業所数(%)	24.5	40.6	21.0	20.3	9.1	25.9	0.7	2.1	25.9	9.1
1~9人	56	回答数	16	25	13	4	9	13			9	4
		回答数/回答事業所数(%)	28.6	44.6	23.2	7.1	16.1	23.2			16.1	7.1
10~29人	143	回答数	28	55	26	32	13	34		1	47	11
		回答数/回答事業所数(%)	19.6	38.5	18.2	22.4	9.1	23.8		0.7	32.9	7.7
30~99人	124	回答数	41	52	24	19	10	22	2	6	50	6
		回答数/回答事業所数(%)	33.1	41.9	19.4	15.3	8.1	17.7	1.6	4.8	40.3	4.8
100~300人	33	回答数	15	13	7	7	3	3	2		9	2
		回答数/回答事業所数(%)	45.5	39.4	21.2	21.2	9.1	9.1	6.1		27.3	6.1
《参考》全国計	11,759	回答数	3,306	4,118	2,490	2,122	1,474	2,430	175	414	3,383	786
		回答数/回答事業所数(%)	28.1	35.0	21.2	18.0	12.5	20.7	1.5	3.5	28.8	6.7

非正規雇用労働者の正規雇用への転換は、全産業で、「転換したことがある」26.0%、「転換したことはない」74.0%となっている。

規模別にみると、「転換したことがある」が、「1人～9人」7.1%、「10～29人」22.4%、「30～99人」37.2%、「100～300人」56.8%となっており、規模が大きくなるにつれて、「転換したことがある」割合が増加している。

第29図表 非正規雇用労働者の正規雇用への転換



前項で、非正規雇用労働者を正規雇用へ「転換したことがある」と回答した事業所に、正規雇用へ転換するメリットについて聞いたところ、全産業で、「長期勤続、定着が期待できる」が82.3%で最も多く、次いで、「要員を安定的に確保できるようになる」31.5%、「非正規雇用労働者の雇用に対する不安感を払拭できる」と「技能の蓄積やノウハウの伝承が図られるようになる」が25.0%となっている。

第30図表 正規雇用へ転換するメリット（複数回答）

	回答事業所数		長期勤続、定着が期待できる	非正規雇用労働者に対する不安感を払拭できる	要員を安定的に確保できるようになる	業務のノウハウが蓄積される	人間的関係が良くなる	教育訓練が行われる	仕事を専念できる	既存の高度社員	その他
全産業	124	回答数 回答数／回答事業所数(%)	102 82.3	31 25.0	39 31.5	31 25.0	22 17.7	16 12.9	19 15.3	3 2.4	
製造業 計	71	回答数 回答数／回答事業所数(%)	57 80.3	19 26.8	20 28.2	17 23.9	10 14.1	10 14.1	7 9.9	1 1.4	
非製造業 計	53	回答数 回答数／回答事業所数(%)	45 84.9	12 22.6	19 35.8	14 26.4	12 22.6	6 11.3	12 22.6	2 3.8	
1～9人	8	回答数 回答数／回答事業所数(%)	7 87.5	3 37.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0		
10～29人	40	回答数 回答数／回答事業所数(%)	34 85.0	13 32.5	10 25.0	10 25.0	8 20.0	6 15.0	9 22.5		
30～99人	55	回答数 回答数／回答事業所数(%)	46 83.6	10 18.2	18 32.7	13 23.6	10 18.2	7 12.7	5 9.1	3 5.5	
100～300人	21	回答数 回答数／回答事業所数(%)	15 71.4	5 23.8	7 33.3	5 23.8	3 14.3	1 4.8	3 14.3		
《参考》全国計	3,384	回答数 回答数／回答事業所数(%)	2,732 80.7	1,188 35.1	1,062 31.4	907 26.8	649 19.2	433 12.8	437 12.9	69 2.0	

前々項で、非正規雇用労働者を正規雇用へ「転換したことがある」と回答した事業所に、正規雇用に転換する上での課題について聞いたところ、全産業で、「課題はとくにない」が37.4%で最も多く、次いで、「正社員との仕事や労働条件のバランスの図り方」34.8%、「モチベーションを維持するための方法」17.4%、「業務量の変動に伴う労働条件の調整」16.5%の順となっている。

第31図表 正規雇用に転換する上での課題（複数回答）

	回答事業所数		たがと既 場必の存 合要雇の のに用正 対な調社 処つ整員	図の事 りバや社 方ラ労働 ン働と ス条の の件仕	件に業 の伴務 調う量 整労の 働変 条動	す新 る卒 影採 響用 に 対	たンモ めをチ の維べ 方持ー 法すシ るヨ	協 議 働 組 合 調 整 の	な課 い題 はと くに	そ の 他
全産業	115	回答数 回答数／回答事業所数(%)	17 14.8	40 34.8	19 16.5	10 8.7	20 17.4	1 0.9	43 37.4	7 6.1
製造業 計	66	回答数 回答数／回答事業所数(%)	10 15.2	25 37.9	10 15.2	8 12.1	12 18.2		24 36.4	4 6.1
非製造業 計	49	回答数 回答数／回答事業所数(%)	7 14.3	15 30.6	9 18.4	2 4.1	8 16.3	1 2.0	19 38.8	3 6.1
1～9人	7	回答数 回答数／回答事業所数(%)	1 14.3	1 14.3	2 28.6		1 14.3		3 42.9	
10～29人	39	回答数 回答数／回答事業所数(%)	6 15.4	17 43.6	8 20.5	2 5.1	7 17.9		14 35.9	1 2.6
30～99人	51	回答数 回答数／回答事業所数(%)	6 11.8	17 33.3	7 13.7	7 13.7	10 19.6		20 39.2	5 9.8
100～300人	18	回答数 回答数／回答事業所数(%)	4 22.2	5 27.8	2 11.1	1 5.6	2 11.1	1 5.6	6 33.3	1 5.6
《参考》全国計	3,263	回答数 回答数／回答事業所数(%)	623 19.1	1,057 32.4	724 22.2	195 6.0	604 18.5	23 0.7	1,128 34.6	92 2.8